

- 温水のボイラーの熱源は入手のしやすい灯油を利用するため、燃料の確保が容易である。このように、災害時等の活用を前提とした設計となるよう工夫した。
- 同製品はコイン式シャワーではあるが、専用メダルで使用することも可能であり、避難者も平等に使用することが出来る他、シャワー内部のスイッチを切り替える事でメダル無しでも使用ができる。

### 被災地で設置した実績

- 新潟県中越地震では、被災地に3台設置した実績がある。また、東日本大震災では、石巻市に5台設置され、世界中のボランティアに利用された。



▲石巻市での設置状況

## 3 取組の平時における利活用の状況

- 同製品は、海水浴場や野外イベント、消防・自衛隊等の野外訓練時に利用されており、使用に係る要望や改善の余地等についての情報を得るようにしている。

## 4 取組の国土強靱化の推進への効果

- 同製品は、過去の災害時に活用され、その教訓を基に製品を改善し、災害時の現場環境を配慮した設計になっている。同製品は、平時のみならず有事における避難者及び支援者にとって重要なライフラインとして機能することが期待される。

## 5 防災・減災以外の効果

- 同製品が認知され、被災地での設営が増えることにより、現地のニーズを直接把握する機会が増加した。これにより、車椅子でも使用できる簡易シャワーや、太陽光発電機を活用した給湯装置の開発等つながり、同社の製品ラインナップの充実につながっている。

## 6 現状の課題・今後の展開など

- 同社は、災害時だけでなく、平時における野外レジャーにおいても活用してもらえるように、さらなる広報活動を展開する予定である。

## 7 周囲の声

- シャワーがこんなに暖かいとは、もっと寒いものと思っていた。(新潟中越地震の被災者)
- 10室のシャワーを1台のボイラーで運転でき、専門的な知識も許可も不要で燃料消費も少なく安全で経済的である。(NPO)